

大字名 片又木、有秋台東1丁目、有秋台東2丁目の一部、豊成、立野、泉台1丁目～5丁目、迎田の一部、不入斗の一部、深城の一部

9-1 有秋東小学校 8.718 km²

○地区の概要

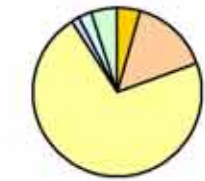
台地とこれを刻む谷からなる。地区の中央部を不入斗川、立野川が東西に流れ、西部で椎津川に合流する。それとほぼ平行に県道南総姉崎線が通り、中東部は館山自動車道が横断する。県道南総姉崎線、館山自動車道の北側は、台地が造成され、戸建て住宅地となる。館山自動車道の東側は主にゴルフ場で、その他は主に農地と山林である。不入斗川、立野川の谷底平野に分布する住宅の背後は、がけ崩れ危険箇所が多い。避難収容施設は中西部の有秋東小学校で、最も遠い東部からは約3km離れている。有秋東小学校の敷地下を不入斗川が流れる。

○社会条件

人口	0～4歳	207 人
	5～64歳	4,820 人
	65歳～	742 人
	総人口	5,769 人
	世帯数	2,267 人
世帯人員	2.54 人/世帯	
65歳以上の人口比率	12.86 %	
75歳以上の人口比率	5.66 %	
建物棟数	木造(昭和35年以前)	87 棟
	木造(昭和36～55年)	301 棟
	木造(昭和56年以降)	1,416 棟
	非木造(昭和45年以前)	33 棟
	非木造(昭和46～55年)	52 棟
	非木造(昭和56年以降)	97 棟
	合計	1,986 棟

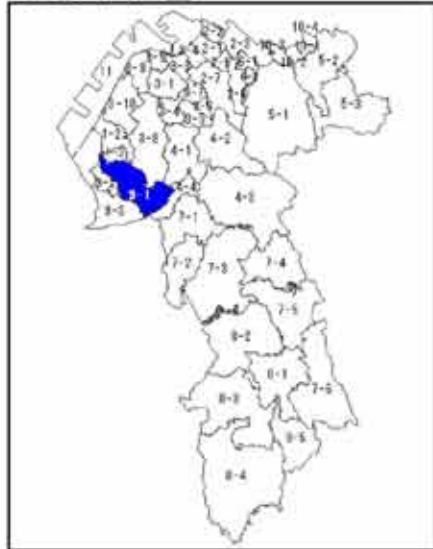


地区の人口構成



地区の建物構成

○地区位置図



○防災関連施設・公共施設

市役所、支所	姉崎学校給食共同調理場	避難収容施設	有秋東小学校
主な公共施設等	—	救護所	—
警察署、交番、駐在所	—	福祉避難所	—
消防署	—	町会公民館・集会場	泉台コミュニティホール、上稜田集会所、不入斗集会所、立野公民館 他8箇所
消防団	姉崎支団第6分団、第7分団	幼稚園・保育所	第二姉ヶ崎幼稚園
病院・診療所等	泉台クリニック、みどりヶ丘診療所	小学校・中学校・高校	有秋東小学校
災害協力井戸	1 防災井戸	福祉施設	—

○近年の主な災害履歴

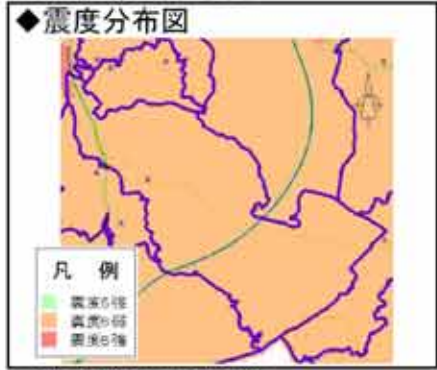
平成15年8月15～16日 大雨 法面崩壊
平成16年10月5日 大雨 道路冠水

○避難収容施設・避難場所収容能力

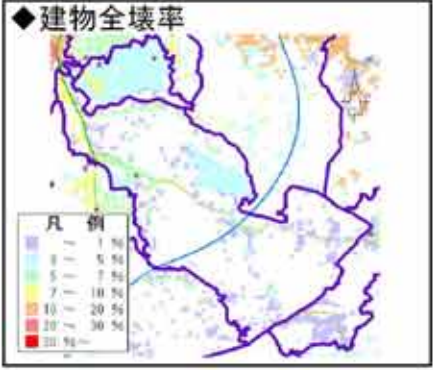
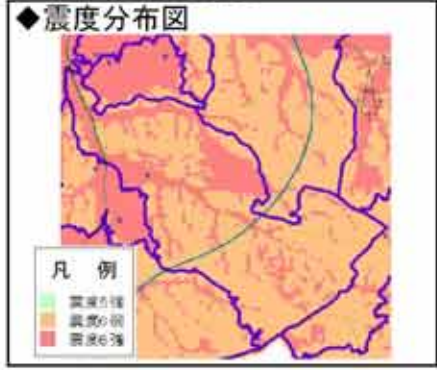
名称	宿泊可能人数	一時避難人数
有秋東小学校	204 人	1,929 人
	人	人
	人	人
	人	人
	人	人
	人	人
	人	人
計	204 人	1,929 人

○予測結果

＜東京湾北部地震＞



＜市原市直下地震＞



○地震被害予測結果

	東京湾北部地震		市原市直下の地震	
	被害量	比率	被害量	比率
全壊建物	33 棟	1.67 %	82 棟	4.14 %
死者	1 人	0.02 %	2 人	0.03 %
負傷者	46 人	0.80 %	91 人	1.56 %
避難者	417 人	7.23 %	557 人	9.66 %

○災害危険度評価

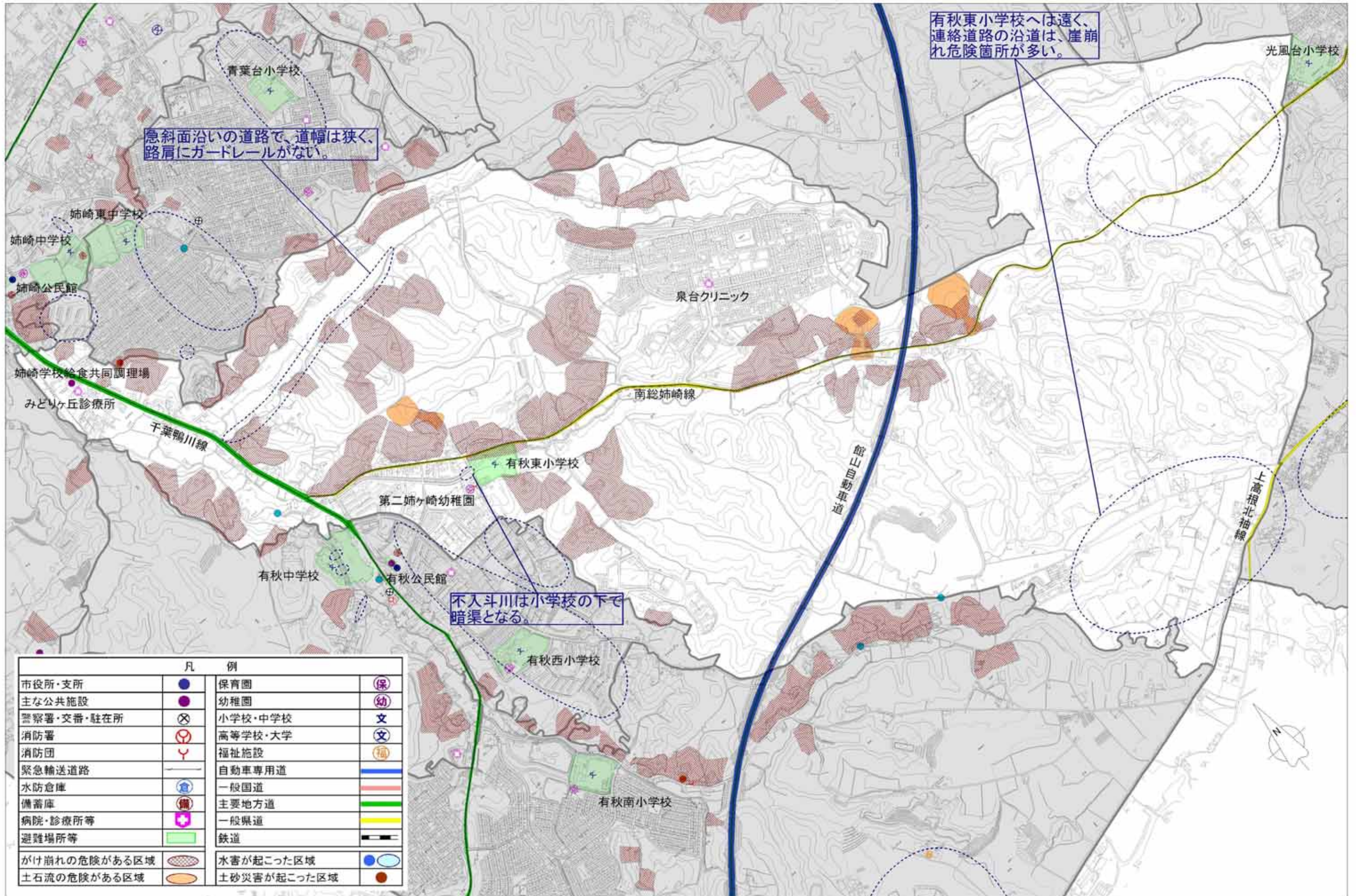
危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害(豪雨・地震による)	
地震による揺れやすさ	
地震による建物被害	

○浸水想定区域図



○防災対策の課題

造成された土地の一部では、稀に地盤崩壊等のおそれがあるため、変状の把握や情報収集が重要である。避難収容施設に関しては、地震被害予測結果で算出された避難者数にくらべ、宿泊可能人数が少ないので、町会公民館や集会所などを利用した避難が望まれる。椎津川の浸水想定区域図では、不入斗川との合流点付近から上流で浸水が予想されており、深いところでは1～2mの浸水深が予想されている。自主防災組織の強化とともに豪雨時の早めの避難が望まれる。また、不入斗川の洪水時は、有秋東小学校への避難に注意を要する。特に、沿道に柵がない水路への浸水時の転落防止柵の設置が望まれる。地区東部から有秋東小学校へ避難する際、崖崩れに注意が必要で、光風台小学校への避難が有効である。



大字名

有秋台東2丁目の一部、有秋台東3丁目、有秋台西1丁目～2丁目、椎津の一部、迎田の一部、不入斗の一部、深城の一部

9-2

有秋西小学校

2.029 km²

○地区の概要

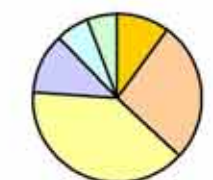
台地とこれを刻む谷からなる。主要地方道千葉鴨川線が中央部を縦断し、ほぼ平行に深城川が流れる。主要地方道の東側は台地で、有秋台団地が造成されており、集合住宅が多い。主要地方道の西側は主に農地と山林で、谷底平野に住宅が分布する。住宅の背後は一部がけ崩れ危険箇所である。避難収容施設は中央部の有秋中学校、南東部の有秋西小学校、有秋公民館で、1km以内にある。有秋中学校を深城川が縦断しており、東西の敷地を橋で連絡する。

○社会条件

人口	0～4歳	328 人
	5～64歳	2,654 人
	65歳～	145 人
	総人口	3,127 人
世帯数	1,244 人	
世帯人員	2.51 人/世帯	
65歳以上の人口比率	4.65 %	
75歳以上の人口比率	1.95 %	
建物棟数	木造(昭和35年以前)	58 棟
	木造(昭和36～55年)	154 棟
	木造(昭和56年以降)	226 棟
	非木造(昭和45年以前)	68 棟
	非木造(昭和46～55年)	36 棟
	非木造(昭和56年以降)	34 棟
合計	576 棟	



地区の人口構成



地区の建物構成

○地区位置図



○防災関連施設・公共施設

市役所、支所	有秋支所	避難収容施設	有秋西小学校、有秋中学校、有秋公民館
主な公共施設等	有秋公民館	救護所	有秋公民館
警察署、交番、駐在所	有秋交番	福祉避難所	—
消防署	姉崎消防署有秋分署	町会公民館・集会場	有秋西集会所、三井東集会所、姉崎社宅集会所、山谷町集会所 他2箇所
消防団	(姉崎支団第7分団)	幼稚園・保育所	有秋幼稚園、市原ふじ幼稚園
病院・診療所等	有秋台医院、姉崎病院	小学校・中学校・高校	有秋西小学校、有秋中学校
災害協力井戸	0	防災井戸	2
		福祉施設	—

○近年の主な災害履歴

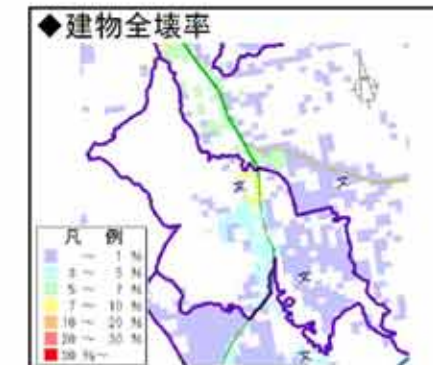
平成13年10月10日 大雨 床下浸水

○避難収容施設・避難場所収容能力

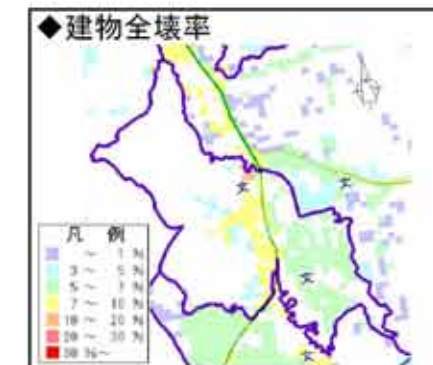
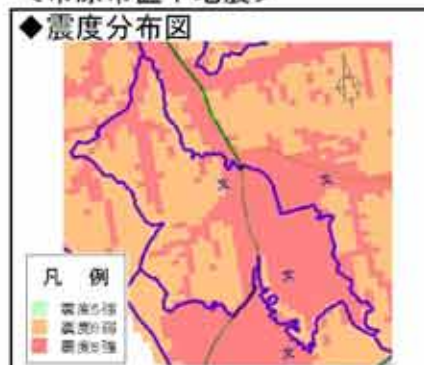
名称	宿泊可能人数	一時避難人数
有秋西小学校	240 人	1,689 人
有秋中学校	420 人	2,091 人
有秋公民館	182 人	0 人
	人	人
	人	人
	人	人
	人	人
	人	人
計	842 人	3,779 人

○予測結果

＜東京湾北部地震＞



＜市原市直下地震＞



○地震被害予測結果

	東京湾北部地震		市原市直下の地震	
	被害量	比率	被害量	比率
全壊建物	17 棟	3.00 %	41 棟	7.13 %
死者	1 人	0.03 %	2 人	0.06 %
負傷者	36 人	1.15 %	68 人	2.15 %
避難者	284 人	9.09 %	292 人	9.35 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	<input type="checkbox"/>
土砂災害(豪雨・地震による)	<input type="checkbox"/>
地震による揺れやすさ	<input type="checkbox"/>
地震による建物被害	<input type="checkbox"/>

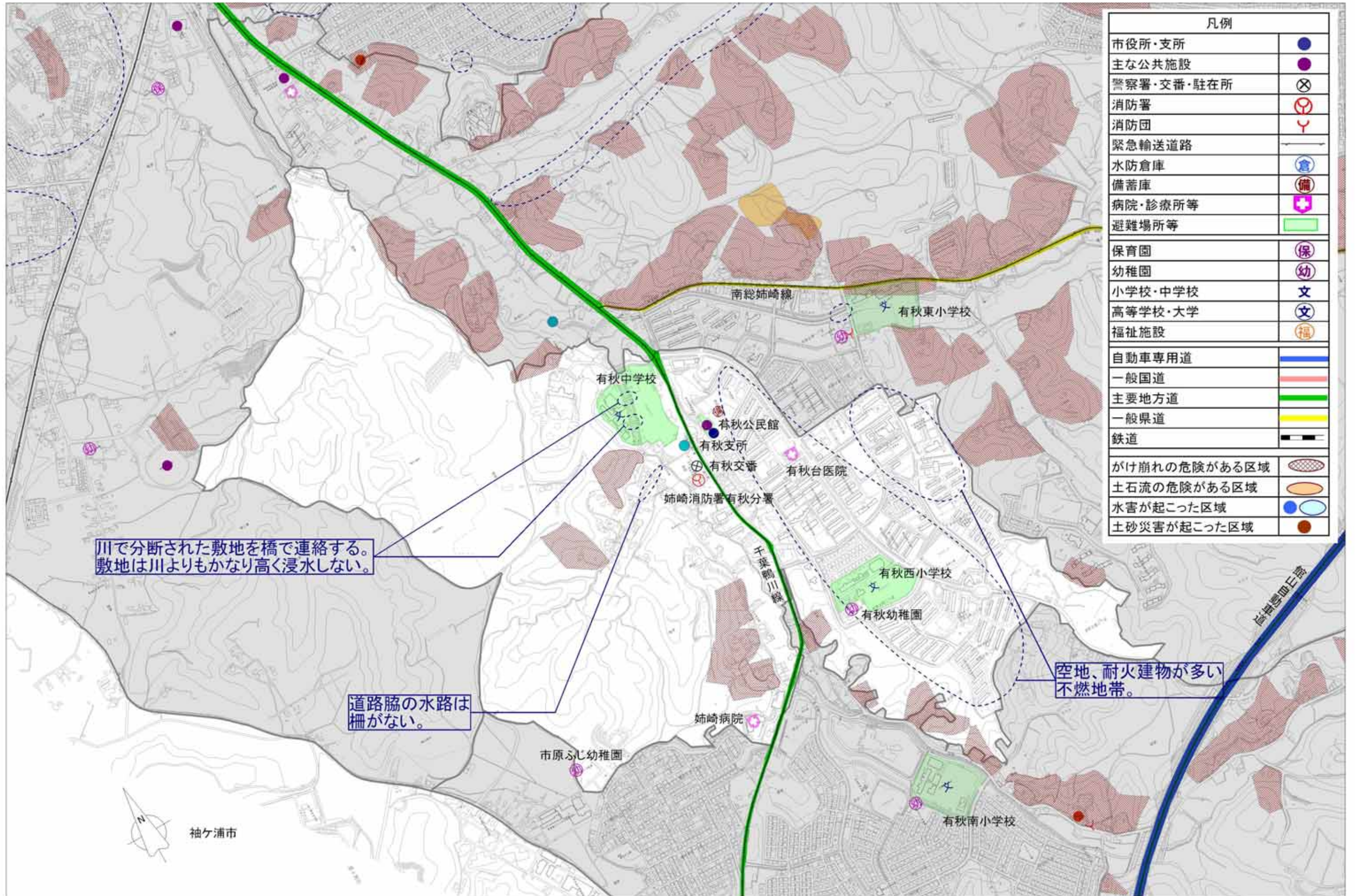
○浸水想定区域図



○防災対策の課題

造成された土地の一部では、稀に地盤崩壊等のおそれがあるため、変状の把握や情報収集が重要である。

9-2 有秋西小学校



凡例	
市役所・支所	●
主な公共施設	●
警察署・交番・駐在所	⊗
消防署	⊗
消防団	⊗
緊急輸送道路	—
水防倉庫	倉
備蓄庫	備
病院・診療所等	+
避難場所等	■
保育園	保
幼稚園	幼
小学校・中学校	文
高等学校・大学	文
福祉施設	福
自動車専用道	—
一般国道	—
主要地方道	—
一般県道	—
鉄道	—
がけ崩れの危険がある区域	■
土石流の危険がある区域	■
水害が起こった区域	■
土砂災害が起こった区域	■

川で分断された敷地を橋で連絡する。敷地は川よりもかなり高く浸水しない。

道路脇の水路は柵がない。

空地、耐火建物が多い不燃地帯。



大字名 天羽田、椎の木台1丁目～2丁目、桜台1丁目～4丁目、椎津の一部、迎田の一部、不入斗の一部、深城の一部

9-3 有秋南小学校

5.848 km²

○地区の概要

市の西部に位置し、西側を袖ヶ浦市と接する。台地とこれを刻む谷からなる。地区の西部を主要地方道千葉鴨川線が南北に通る。また、中東部を館山自動車道が北東から南西に通り、南西部に姉崎袖ヶ浦ICがある。

北部は台地に造成された椎の木台、桜台団地があり、戸建ての住宅地である。館山自動車道の南側は、主に農地と山林である。

深城川の谷底平野に分布する住宅の背後は、がけ崩れ危険箇所が多い。

避難収容施設は中北部の有秋南小学校で、最も遠い南東部、南西部からは約2km離れている。

○社会条件

人 口	0～4歳	162 人	
	5～64歳	5,355 人	
	65歳～	1,558 人	
	総人口	7,076 人	
世帯数	2,735 人		
世帯人員	2.59 人/世帯		
65歳以上の人口比率	22.03 %		
75歳以上の人口比率	7.92 %		
建 物 棟 数	木造(昭和35年以前)	74 棟	
	木造(昭和36～55年)	791 棟	
	木造(昭和56年以降)	1,173 棟	
	非木造(昭和45年以前)	0 棟	
	非木造(昭和46～55年)	135 棟	
	非木造(昭和56年以降)	188 棟	
合計		2,361 棟	

○地区位置図



○防災関連施設・公共施設

市役所、支所	—	避難収容施設	有秋南小学校
主な公共施設等	—	救護所	—
警察署、交番、駐在所	—	福祉避難所	—
消防署	—	町会公民館・集会場	桜台自治会館、椎の木台自治会館、深城青年館、西野集会所 他2箇所
消防団	姉崎支団第8分団	幼稚園・保育所	市原みのり幼稚園
病院・診療所等	—	小学校・中学校・高校	有秋南小学校
災害協力井戸	0	防災井戸	1
		福祉施設	ゆうしゅう園

○近年の主な災害履歴

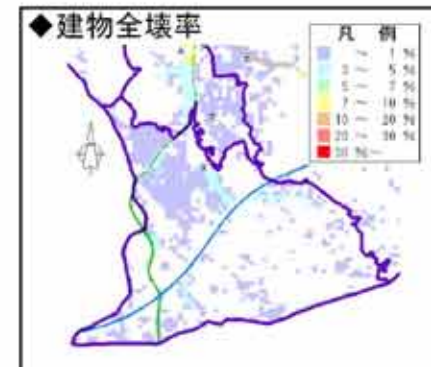
平成12年7月7日 台風3号 がけ崩れ
平成15年8月15～16日 大雨 道路冠水
平成18年12月26～27日 豪雨 がけ崩れ

○避難収容施設・避難場所収容能力

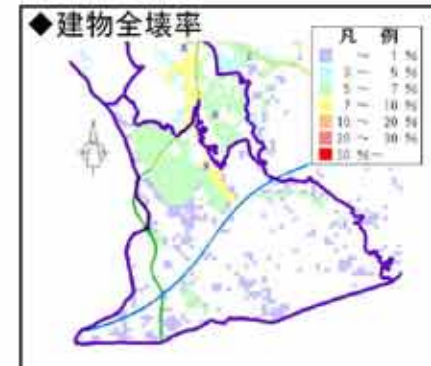
名称	宿泊可能人数	一時避難人数
有秋南小学校	203 人	1,613 人
	人	人
	人	人
	人	人
	人	人
	人	人
	人	人
計	203 人	1,613 人

○予測結果

<東京湾北部地震>



<市原市直下地震>



○地震被害予測結果

	東京湾北部地震		市原市直下の地震	
	被害量	比率	被害量	比率
全壊建物	42 棟	1.79 %	110 棟	4.64 %
死者	1 人	0.01 %	3 人	0.04 %
負傷者	61 人	0.86 %	119 人	1.67 %
避難者	549 人	7.75 %	708 人	10.00 %

○浸水想定区域図



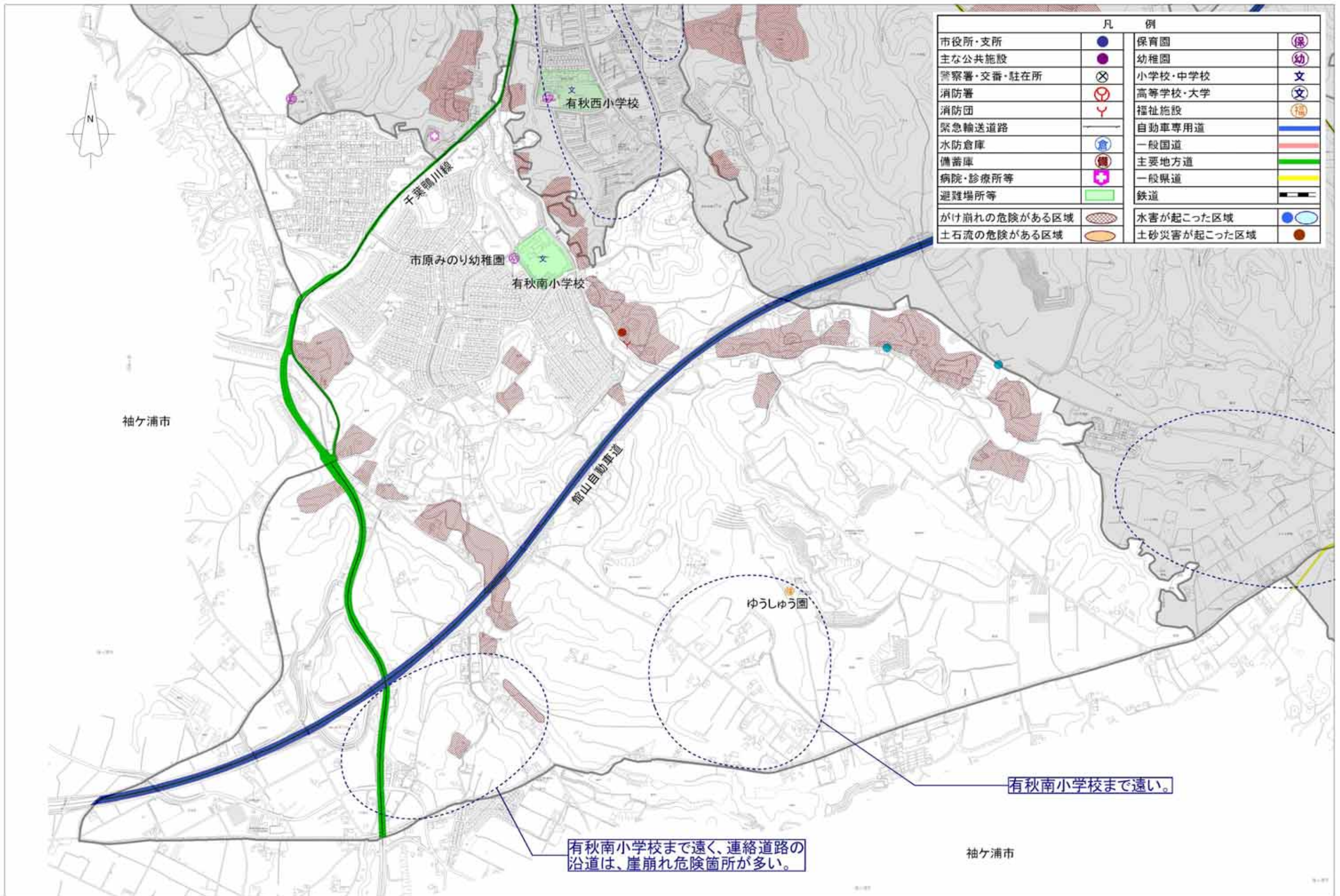
○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害(豪雨・地震による)	
地震による揺れやすさ	
地震による建物被害	

○防災対策の課題

造成された土地の一部では、稀に地盤崩壊等のおそれがあるため、変状の把握や情報収集が重要である。避難収容施設から遠い地域の避難計画を検討する必要がある。

9-3 有秋南小学校



凡 例			
市役所・支所	●	保育園	保
主な公共施設	●	幼稚園	幼
警察署・交番・駐在所	⊗	小学校・中学校	文
消防署	⊗	高等学校・大学	文
消防団	⊗	福祉施設	福
緊急輸送道路	—	自動車専用道	—
水防倉庫	倉	一般国道	—
備蓄庫	備	主要地方道	—
病院・診療所等	+	一般県道	—
避難場所等	■	鉄道	—
がけ崩れの危険がある区域	斜線	水害が起こった区域	●
土石流の危険がある区域	斜線	土砂災害が起こった区域	●

有秋南小学校まで遠い。

有秋南小学校まで遠く、連絡道路の沿道は、崖崩れ危険箇所が多い。

袖ヶ浦市

